

ファシレ！図書館員！

図書館員は図書館の外の人たちといろいろ一緒にやっつけていかなきゃいけない、そこで大事なのが「ファシリテーション」力だ、なんて最近よく言われます。

でもそもそも、「ファシリテーション」っていったい何なんでしょう？

会議の司会のことじゃないんでしょうか？

図書館員は何をすればいいんでしょう？

本研修では、話題になっているけれどよくわからない

「ファシリテーション」について、

どうして求められているのか、

具体的にどんなスキルが必要なのか

を考えます。



基調講演 「知」の集積と創発のなかでの大学図書館： 変わりゆくメディアとコミュニケーションのもとで



ふか がい やす のり
深貝 保則 横浜国立大学大学院
国際社会科学研究院教授

1983年東京大学経済学研究科博士課程単位取得退学。山形大学、神奈川大学、東京都立大学を経て2005年から現職。2014-2015年度に横浜国立大学附属図書館長の役に就くなかで、「国立大学図書館協会ビジョン2020」の策定に携わる。経済思想史、社会倫理学を専門としつつ、図書館や学術コミュニケーションの未来についても講演の機会を持つ。最近の研究成果として、『ジェレミー・ベンサム挑戦』（共編・ナカニシヤ出版）、The Political Economy of Transnational Tax Reform (co-editing, Cambridge University Press) など。

事例報告

たに な ほ
谷 奈穂 千葉大学附属図書館
「千葉大学アカデミック・リンク」

なか じま やすし
中嶋 康 帝京大学メディアライブラリーセンター
「帝京大学共読ライブラリー」

ワークショップ ファシリテーション 決める力 / 伝える力の鍛え方



み たに こう じ
三谷 宏治 K.I.T. (金沢工業大学) 虎ノ門大学院
教授

東京大学理学部物理学科卒業後、1987年BCG入社、以降経営戦略コンサルティングに携わり、2003～06年、アクセンチュア戦略グループ統括。2006年からは教育の世界に転じ、コンサルタント時代に培った『決める力』『発想力』を次世代に伝える活動に注力している。その対象は社会人から子育て世代、小中学生と多岐にわたり、年間100回以上各地で授業・講演活動を行っている。主著に『経営戦略全史』（ディスカヴァー 21）

【日時】

平成 30 年

2月 16日 (金)

10:00 - 17:15

※研修終了後、図書館見学・情報交換会を予定しています

【会場】

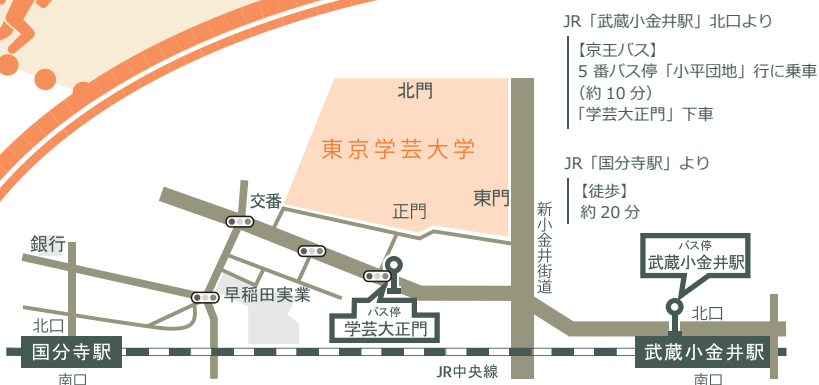
東京学芸大学附属図書館

ラーニングcommons

【申込】 申込フォーム

<https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/v33/entries/add/96>

【定員】 30名 (平成30年1月24日応募〆切)



JR「武蔵小金井駅」北口より
【京王バス】
5番バス停「小平団地」行に乗車
（約10分）
「学芸大正門」下車

JR「国分寺駅」より
【徒歩】
約20分